

<p>【園目標】 心豊かに元気いっぱい遊ぶ子</p>	<p>【前年度の成果と課題】 ・子どもの育ちを丁寧につまみ、良い姿を子どもたちに発信し、自己肯定感を育む。 ・異年齢交流の時間を確保し、互いに刺激を与えあい、育ちあえる環境を作る。 ・園で行っている安全対策について、掲示や通信などを通して、家庭へ発信する。</p>
--------------------------------	--

4段階評価 ○保育者 ☆関係者

観 点	短期目標(評価項目)	自己 評価	保護者 評価	評価及び意見の概要	
子ども への 保育・ 教育	身体的 発達	・身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、身体を動かすことが好きになる。	3.1	3.8	○発達や年齢に応じて必要な遊具や玩具を準備したり、子どもの「～したい」の声を聞いて、環境を見直し再構成したりしていった。子どもたちのやる気や意欲が高まり、“やりたい” “やってみたい”という姿が増えた。 ○リズム遊びや集団遊びを積極的に取り入れ、友達と関わりながら身体を動かす楽しさを味わえるようにした。「またやりたい！」と自発的に次の日も遊ぶ姿が増え、身体を動かすことが楽しいと感じている。 ☆身体を動かす活動が多く感心している。ダンスや身体を動かすことが大好きになったということは、見ていてよく分かった。
	社会的 発達	・友達や異年齢児とのかかわりを通して、相手の思いや良さに気付く。	3.5	3.5	○友達の良いことを見つけを行い良い姿を発表したり、掲示したりして認めていく中で、自分の良さや友達の良さに気付けるようになってきた。 ○異年齢児のペアで園外保育に出かけたり、お店屋さんごっこをしたりして交流する中で、戸外遊びの際にも自然な形で関わる姿が見られるようになった。自分より年下の子に優しく接する姿が見られるようになり、それぞれの年齢で思いやりの気持ちが育ってきている。 ☆綾里地域は人数が少ない分、保護者同士のコミュニケーションが良く、子ども同士も仲が良い。 ☆異年齢児の発表を互いに見合う機会や、一緒に散歩に出かける機会もありとても良い。 ★異年齢児のかかわる遊びが、もっとあれば子どもの発達に良い影響があると思う。
	精神的 発達	・好きな遊びを見つけて試したり、工夫したりして夢中になって遊ぶ。	3.4	3.8	○子どもが“やってみたい”と思える環境づくりに心がけた。保育者が仲間に入り、遊ぶ姿を見せることで、“私もやってみたい”という気持ちが高まり、様々な遊びに取り組める子が増えた。 ○季節や行事に合わせて遊びに必要なものを準備する中で、自分でやりたい遊びを見つけて、夢中になって遊ぶ姿が見られるようになった。 ☆初めての事には躊躇したり、あきらめてしまったりしていたが、園生活の中で好きな遊びができ、何でも挑戦しようとするようになった。 ☆指先を使う遊びや、体を動かす遊びなど、それぞれに工夫して遊んでいる姿が良かった。どの子も夢中になって遊んでいる姿が見られた。
対する 保育者・ 地域の 支援等	保護者 支援	・家庭との連携を図り、保護者と子どもの育ちを確かめ合う。	3.6	3.7	○登降園時に、園での様子を話したり、家庭での様子を尋ねたりして、コミュニケーションを図った。保護者の方も心を開いてくださり、家庭での面白エピソードや育児の悩みなども相談して下さるようになった。 ○日々の保育の中でのエピソードを具体的に伝えていき、子どもの成長を共に喜びあうことができた。 ☆毎日園での様子を伝えてもらえるので安心する。子どものいろいろな面を教えてもらえるので嬉しい。 ☆クラスだよりが充実していて保護者も安心されると思う。また、保護者の相談にもものっていただけ大変ありがたい。
体実 制施 全運 般営	危機 管理	・危機意識をもち緊急時に適切かつ迅速に対応できるようにする。	3.7	3.7	○園内研修で防災士の方を招き、地震の際の身の守り方、どこに危険があるのか学ぶ事ができた。正しいと思って行動していた事が、正解ではなく安全に対する意識も変わった。また、防災士の方から学んだことを写真掲示や通信を通して家庭に発信し情報共有した。 ○防災士の方に幼児向け訓練も行ってもらい、安全な避難場所、自分の身の守り方など、正しい知識を身につけることができた。 ○園で行っている防犯訓練、交通教室、命を守る訓練の様子や安全対策について、園内掲示板やキッズビューに掲載し、家庭に発信した。 ●防災士の方に教えていただいたことを基に、様々な場所や想定での訓練を行い、緊急時に臨機応変に対応できるようにしていく必要がある。 ☆毎月、命を守る訓練ができており良いと思う。園で行った命を守る訓練や防犯訓練で覚えたことを家で話してくれるようになった。

【次年度に向けて】

- ・異年齢児交流は計画的に行っているが、地域や家庭への周知が十分ではないので、交流の内容や様子等を、掲示や通信などを通して、家庭や地域へ発信する。
- ・防災士の方の研修を通して学んだことを活かし、今までの訓練方法を見直し、あらゆる場所、想定での訓練を実施する。
- ・保育者の資質向上のため、各クラス公開保育を行い、互いの保育を見合い、指導力の向上に努める。